

### 3. 「わたしの“好き”を見つける」参考文献一覧

教養教育センター主催企画の中でご紹介した文献や登壇者からのおすすめ本は、以下のサイトからご覧いただけます。

【ブックログ：立命館大学教養教育センター各種企画のおすすめ本】

<https://booklog.jp/users/ritsumeikan-univ>

#### ■ 大崎 智史 立命館大学映像学部講師

- ・ 荒川徹「ミュージックビデオには何が表現されているのか——レンズ・オブジェクト・霊」、『ECRIT-O』vol.11、エクリヲ編集部、2019年、22-31頁
- ・ デイヴィッド・ボードウェル、クリスティン・トンプソン『フィルム・アート——映画芸術入門』藤木秀朗監訳、名古屋大学出版会、2007年
- ・ Shaviro, Steven. *Digital Music Videos*. New Brunswick: Rutgers University Press, 2019.
- ・ Fluekiger, Barbara. “Photorealism, Nostalgia and Style: Material Properties of Film in Digital Visual Effects.” In *Special Effects: New Histories/ Theories/ Contexts*, edited by Dan North, Bob Rehak, Michael S. Duffy, 78-96. London: Palgrave, 2015.
- ・ Gunning, Tom. “The Cinema of Attraction: Early Film, Its Spectator and the Avant-Garde.” In *Early Cinema: Space, Frame, Narrative*, edited by Thomas Elsaesser and Adam Barker, 56-62. London: BFI Publishing. [トム・ガニング「アトラクションの映画——初期映画とその観客、そしてアヴァンギャルド」中村秀之訳、長谷正人、中村秀之編『アンチ・スペクタクル 沸騰する映像文化の考古学』、東京大学出版会、2003年、303-333頁]
- ・ 木澤佐登志「ミレニアル世代を魅了する奇妙な音楽「ヴェイパーウェイブ」とは何か」、『現代ビジネス』、2019年、<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/59738?imp=0> (最終閲覧日 2021年7月29日)
- ・ 松下哲也「Vaporwaveと「シコリティ」の美学」、『ユリイカ』第51巻第21号、青土社、2019年、193-200頁
- ・ 三浦哲哉「二つのリアリズムと三つの自動性——新しいシネフィリーのために」、『現代思想』第44巻第1号、青土社、2016年、206-218頁
- ・ 長門洋平「映画音響理論はどこまでミュージック・ビデオを語れるか——宇多田ヒカル『Goodbye Happiness』を例に」、『ECRIT-O』vol.11、エクリヲ編集部、2019年、22-31頁
- ・ 銭清弘「Vaporwave」、『現代思想』2019年5月臨時増刊号、青土社、2019年、237-240頁
- ・ Vernallis, Carol. *Unruly Media: YouTube, Music Video, and The New Digital Cinema*. New York: Oxford University Press, 2013.
- ・ 「星野源 - 創造 (Official Video)」、<https://www.youtube.com/watch?v=74FIsXIS0EQ> (最終閲覧日 2021年7月29日)
- ・ 「星野源 - 創造 [Behind The Scenes]」、<https://www.youtube.com/watch?v=U7Ozb7pq4UQ> (最終閲覧日 2021年7月29日)
- ・ 円堂都司昭『ソーシャル化する音楽——「聴取」から「遊び」へ』、青土社、2013年

- ・ 細馬宏通『うたのしくみ増補改訂完全版』、ぴあ、2021年
- ・ 伊藤弘了『仕事と人生に効く教養としての映画』、PHP 研究所、2021年
- ・ 菊地成孔、大谷能生『アフロ・ディズニー——エイゼンシュテインから「オタク＝黒人」まで』、文藝春秋、2009年
- ・ 北村匡平『24 フレームの映画学——映像表現を解体する』、晃洋書房、2021年

#### ■ 小寺 未知留 立命館大学文学部准教授

- ・ Leonard B. Meyer. *Emotion and Meaning in Music*, Chicago: University of Chicago Press, 1956.
- ・ アラン・リクト『サウンド・アート——音楽の向こう側、耳と目の間』、木幡和枝監訳、フィルムアート社、2010年。
- ・ Seth Stephens-Davidowitz. 2018. “The Songs That Bind,” *New York Times*, 2018 (Feb. 10th), <https://www.nytimes.com/2018/02/10/opinion/sunday/favorite-songs.html>, (最終閲覧日 2021年7月30日)。
- ・ ダニエル・レヴィティン『新版 音楽好きな脳——人はなぜ音楽に夢中になるのか』、西田美緒子訳、ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングスミュージックメディア部、2021年。
- ・ マーク・ジョンソン他『発達認知神経科学』、鹿取廣人、鳥居修晃監訳、東京大学出版会、2014年。
- ・ 中垣啓「認知発達と第二の誕生」、『子どもの発達と脳科学——カリキュラム開発のために』、勁草書房、2012年、35-79頁。
- ・ 齋藤大輔「青年期から成人期」、『脳の発達科学』、日本発達心理学会編、2015年、28-37頁。
- ・ G. R. ファンデンボス監修『APA 心理学大辞典』、繁榊算男、四本裕子監訳、培風館、2013年。
- ・ Frank T. McAndrew. “Why Do Old People Hate New Music?” *The Conversation*, 2019 (Sep. 26th), <https://theconversation.com/why-do-old-people-hate-new-music-123834>, (最終閲覧日 2021年7月30日)。
- ・ ピエール・ブルデュー『普及版 ディスタクシオン——社会的判断力批判 I』、石井洋二郎訳、藤原書店、2020年。
- ・ ピエール・ブルデュー『普及版 ディスタクシオン——社会的判断力批判 II』、石井洋二郎訳、藤原書店、2020年。
- ・ 岸政彦『100分 de 名著 ブルデュー ディスタクシオン』、NHK 出版、2020年。
- ・ レイモンド・マクドナルド他編著『音楽アイデンティティ——音楽心理学の新しいアプローチ』、岡本美代子、東村知子共訳、北大路書房、2020年。
- ・ Nicholas Cook. *Music: A Very Short Introduction*, Oxford University Press, 1998.
- ・ 國分功一郎『暇と退屈の倫理学 増補新版』、太田出版、2015年。
- ・ 沼野雄司『ファンダメンタルな楽曲分析入門』、音楽之友社、2017年。
- ・ Nicholas Cook. *Beyond the Score: Music as Performance*, Oxford University Press, 2013.
- ・ 星野源、『星野源 – 創造 (Official Video)』 <https://www.youtube.com/watch?v=74FIsXIS0EQ>, (最終閲覧日 2021年7月30日)。
- ・ 星野源、CD+DVD『不思議／創造 初回限定“感謝”盤』、SPEEDSTAR RECORDS、2021年。
- ・ 山本躍編曲・浄書『FAIRY PIANO PIECE No. 1729 創造 Written by Gen Hoshino』、フェアリー、

2021年。

- ・ 星野源『働く男』、文藝春秋、2015年。
- ・ 星野源『いのちの車窓から』、KADOKAWA、2017年。
- ・ 星野源『バンド・スコア 星野源「YELLOW DANCER」』 シンコーミュージック・エンタテイメント、2016年。
- ・ 星野源『バンド・スコア 星野源「POP VIRUS」』 シンコーミュージック・エンタテイメント、2019年。
- ・ 『MUSICA』 Vol. 170 (2021年6月号)、FACT、2021年。
- ・ 『ROCKIN'ON JAPAN』 2021年7月号、ロッキング・オン、2021年。
- ・ 川本聡胤『J-POPをつくる！——まねる、学ぶ、生み出す』、フェリス女学院大学、2013年。
- ・ 西田紘子、安川智子編著『ハーモニー探究の歴史』、音楽之友社、2019年。
- ・ 南田勝也他編著『音楽化社会の現在——統計データで読むポピュラー音楽』、新曜社、2019年。
- ・ 毛利嘉孝『増補 ポピュラー音楽と資本主義』、せりか書房、2012年。
- ・ クリストファー・スモール『ミュージッキング——音楽は〈行為〉である』、野澤豊一、西島千尋訳、水声社、2011年。

以上